

和泉村前坂キャンプ場での夜間昆虫採集

福井県足羽中学校科学クラブ2年 加藤 与志弘

ぼくたち科学クラブやほかの学校の昆虫を研究する人たちが和泉村にある前坂キャンプ場へいったのは、昭和48年8月7日のとてもあつい日でした。

まず福井駅から越美北線で終着の九頭竜湖へいきました。途中車内で昼食を食べ汽車をおりて満員のバスに乗りました。ぼくはこんなにたくさんの方がいるのかなあと驚きました。バスをおりるとバスの中の空気とは違って変ってすずしい風がふいていました。それから係の人からテント、毛布、なべ、お釜、など台所用具をもらってキャンプをする広場へ行きました。いく途中大きな石がごろごろしている川の上をはねながらわたりました。おもしろくてスリルがありました。広場についてテントのはり方を教えてもらいました。テントは1番大きい物で一方の柱を立てたかと思うと反対の方からたおれてしまい引っぱりすぎてもゆるみすぎてもだめなのでテントをはるのがこんなにむずかしいものかと思いました。テントがはり終ると先生や博物館の館長さんからお話があり、その中でもここは標高500mの所にあるときいてびっくりしました。ぼくの学校は標高50mで約10倍も高い所へきていることになります。今はすずしいけれど夜になると寒いということでした。ぼくが話を聞いている間とてもシロフアブが多かったことでした。何度も血を吸おうとたかってきました。動けば動くほどたかってきました。ぼくたちは夜間採集する前にまだ明るかったので、福山先輩と近くの川で泳ぐことにしました。水はつめたく底が見えるほどきれいでした。泳いでいるとまたシロフアブがたくさん集まってきました。ぼくたちはたまらなくなって泳ぐのをそこそこに川から上ってしまいました。テントへ帰ると先生が今から夕食を作るということでぼくはご飯たきにまわされました。釜に米と水をほどよく入れてたき木をもってきて燃やしました。でもすごい煙が目が痛くて涙がでてきました。そしてもう1つの班が作ってくれたカレーでカレーライスを食べました。やはりくろうして作ったのでとてもおいしいものができました。

食事がすんでそろそろ暗くなってきました。日が暮れると急に寒くなってきました。8時ぐらいになるととなりの羽水高校の方からギターの音がしてきました。10時ごろになって、坪田先生や下野谷先生が、スクリーンを広場のまわりに張りその後から青白いけい光燈をともして待っていると、ハアリがスクリーンを埋めるように集まりました。それを殺虫剤で殺してきれいになりました。またしばらくするとゴミムシが集まり次に蛾が飛んできました。ぼくたちは甲虫を採集するので蛾はとりませんでした。ブーンと音かしてスジコガネがスクリーンにとまりました。それをまっていたようにつかまえては毒ビンに入れるので毒ビンはいっぱいになりテントへ帰っては、あけてきてコガネムシをつかまえました。北野先輩がオオゾウムシをつかまえました。オオゾウムシはそれからいくら探しても1びきも、みつきりませんでした。11時ごろになるとバサバサと落ちるような音がするので行ってみるとカブトムシがいました。ぼくはもっとカブトムシがいるだろうと思いましたが、ぼくたちクラブ全員で5ひきぐらいしかつかまりませんでした。12時半ぐらいになると

ほとんどの人が眠ってしまいました。2時ぐらいになると虫もほとんどこなくなったので、今までがんばっていたぼくたちも眠ることにしました。朝は5時ごろにおきて外にでるとまだけい光燈がともっていました。スクリーンには、虫が1びきもいませんでした。スクリーンの下には殺虫剤で殺した虫が山のようにたまっていました。朝食は8時ごろになってしまい残ったご飯はおむすびにして昼食にすることにしました。9時ごろになってみんなで虫を探しに歩いていたら清水先輩がルリボシカミキリを見つけました。それになぜここにいるスズメバチは少さいのかと疑問でした。12時ごろになるとテントをたたみ始めました。きのうは苦勞してたたいたテントをつぶすのはもったいない気もしました。これで楽しくて勉強になったキャンプも終了しました。昭和49年の時はやらなかったのでしょうかがなく学校で合宿をしてやりましたが、なにも珍しいものはありませんでした。またキャンプを開く時には是非行きたいと思っています。

和泉村前坂キャンプ夜間採集品

昭和48年8月8～9日

・印は数が特に多かったもの

(甲 虫 類)

ゾウムシ科

オオゾウムシ

マツアナアキゾウムシ

ゴミムシダマシ科

ニジゴミムシダマシ

ハムシ科

クロウスバハムシ

オオイタドリハムシ

カミナリハムシ

ドウガネツヤハムシ

キイロタマノミハムシ

ゴミムシ科

ミイデラゴミムシ

テントウムシ科

ヒメカメコテントウ

シロトホシテントウ

シロホシテントウ

ヒメアカホシテントウ

テントウムシ

カミキリムシ科

ウスバカミキリ

ルリボシカミキリ

トガリシロオビサビカミキリ

ハンミョウ科

ヒメハンミョウ

マメハンミョウ

カミキリモドキ科

・アオカミキリモドキ

アサヒナカミキリモド

シリナガカミキリモドキ

ハネカクシ科

・ヒゲナガコガシラハネカクシ

アオバアリガタハネカクシ

(その他)

トンボ科

リスアカネ

カメムシ科

ムラサキカメムシ

カワゲラ科

カワゲラ

ヘリカメムシ科

ハリカメムシ

ヒシバッタ科

ヒシバッタ

オオホシカメムシ科

ヒメホシカメムシ

ハサミムシ科

オオハサミムシ

メクラカメムシ科

・ブチヒゲクロメクラガメ

ケブカメクラガメ

オオクロセダカメクラガメ

アメンボ科

アメンボ

オオアメンボ

クワガタムシ科

ミヤマクワガタ

タイコウチ科

ヒメミズカマキリ

シデムシ科

クロシデムシ

ミズスマシ科

・ミズスマシ

オオミズスマシ

オオモモブトシデムシ

オトシブミ科

ハギツルクビオトシブミ

ゲンゴロウ科

コシジマゲンゴロウ

ヨコバイ科

・ツマグロヨコバイ

ツマグロオオヨコバイ

コメツキムシ科

クロハナコメツキ

クロムナボソコメツキ

ダンダラコメツキ

アワフキムシ科

・コガシラアワフキ

ホシアワフキ

コガネムシ科

・スジコガネ

サクラコガネ

セミ科

ヒグラシ

セダカコガネ
アオウスチャコガネ
ドウガネブイブイ
コガネムシ
ヒメスジコガネ
ヒメコガネ
ウスチャコガネ
ミヤマオオハナムグリ
ナガチャコガネ
・ビロウドコガネ
カブトムシ